

Cameo

ユーザーマニュアル



Authentic
— TASTE & LINES —

目次

| | | |
|----------|---------------|-----------|
| 1 | 安全上の注意 | 6 |
| 2 | 概要説明 | 9 |
| 2.1 | 本機について | 9 |
| 2.1.1 | 主な機能 | 10 |
| 2.2 | 各部の名称 | 11 |
| 2.2.1 | 前面 | 11 |
| 2.2.2 | トレイ | 12 |
| 2.2.3 | タッチパネル | 13 |
| 2.2.4 | 上部（豆ホッパー） | 14 |
| 2.2.5 | 付属品 | 15 |
| 2.3 | 仕様 | 16 |
| 2.3.1 | 抽出能力 | 16 |
| 2.3.2 | 型式番号 | 16 |
| 2.3.3 | 寸法と重量 | 16 |
| 2.3.4 | 電力要件 | 16 |
| 2.3.5 | 環境条件 | 17 |
| 2.3.6 | その他の仕様 | 17 |
| 3 | ソフトウェア | 18 |
| 3.1 | タッチパネルの使用 | 18 |
| 3.2 | メイン画面 | 18 |
| 3.2.1 | ヘッダーストリップ | 19 |
| 3.2.2 | フッターストリップ | 19 |
| 3.3 | メニューボタン | 20 |
| 3.4 | ヘルプボタン | 21 |
| 3.5 | グラインダー設定ボタン | 21 |

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 4 準備 | 22 |
| 4.1 初めて使う | 22 |
| 4.2 特定の設定 | 22 |
| 5 操作 | 23 |
| 5.1 毎日のマシンの立ち上げ手順 | 23 |
| 5.2 電源を入れる | 24 |
| 5.2.1 スタンバイ (起動) | 24 |
| 5.3 リンス | 25 |
| 5.3.1 予熱リンス | 25 |
| 5.3.2 オートリンス | 25 |
| 5.4 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる | 26 |
| 5.5 カップウォーマー | 26 |
| 5.6 ドリンクの抽出 | 27 |
| 5.6.1 抽出口を調節する | 27 |
| 5.6.2 コーヒー抽出 | 27 |
| 5.6.3 給湯 | 27 |
| 5.6.4 スチームを出す | 28 |
| 5.6.5 フラッシングボタン | 29 |
| 5.6.6 コーヒー粉抽出 (例：デカフェ用) | 30 |
| 5.7 停止 | 31 |
| 5.8 カス受けを空にする | 32 |
| 5.9 電源を切る | 32 |
| 5.10 1日の終わりに | 33 |
| 5.11 緊急停止 | 33 |

| | | |
|----------|-----------------------|-----------|
| 6 | プログラムモード | 34 |
| 6.1 | ログイン | 34 |
| 6.2 | プログラムモードの操作 | 36 |
| 6.3 | 操作履歴 | 37 |
| 6.3.1 | ドリンクカウンター | 37 |
| 6.4 | ドリンクメニュー | 38 |
| 6.5 | ディスプレイ | 39 |
| 6.5.1 | アイコンのインポート | 40 |
| 6.5.2 | 言語のインポート | 40 |
| 6.6 | グラインダー設定 | 41 |
| 6.6.1 | 調整に関するヒント | 41 |
| 6.7 | クリーニング／スタンバイ | 42 |
| 6.8 | パスワード | 42 |
| 6.9 | ログアウト | 43 |
| 7 | お手入れ | 44 |
| 7.1 | クリーニングと定期点検 | 44 |
| 7.1.1 | クリーニング | 44 |
| 7.1.2 | メンテナンス | 44 |
| 7.2 | 定期クリーニング | 45 |
| 7.2.1 | クリーニング計画 | 45 |
| 7.2.2 | クリーニングタイムテーブル | 46 |
| 7.3 | クリーニング手順 | 47 |
| 7.3.1 | 自動クリーニング手順（ミルクを含む） | 47 |
| 7.3.2 | 抽出口 | 50 |
| 7.3.3 | 豆ホッパー（およびコーヒー粉投入口） | 50 |
| 7.3.4 | 本体とディスプレイ | 51 |
| 7.3.5 | トレイ | 51 |
| 7.3.6 | クリーニングボールの補充と投入口の目視点検 | 52 |

| | | |
|----------|--------------------|-----------|
| 8 | トラブルシューティング | 53 |
| 8.1 | エラーメッセージの例 | 53 |
| 8.2 | エラーメッセージ | 54 |
| 8.3 | FAQ | 68 |
| 8.3.1 | 豆ホッパーがロック解除されている | 68 |
| 8.3.2 | 水道に接続されていない | 68 |
| 8.3.3 | ミルクが抽出されない | 68 |
| 8.3.4 | スチームノズルが詰まっている | 68 |
| 8.3.5 | カップウォーマーでカップが温まらない | 68 |
| 9 | 付録 | 69 |
| 9.1 | スペアパーツの注文 | 69 |
| 9.2 | ユーザー権限 | 69 |
| 9.2.1 | 操作履歴 | 69 |
| 9.2.2 | ドリンクメニュー（例：カプチーノ） | 70 |
| 9.2.3 | ディスプレイ | 72 |
| 9.2.4 | グラインダー設定 | 74 |
| 9.2.5 | クリーニング／スタンバイ | 74 |
| 9.2.6 | パスワード | 75 |
| 9.2.7 | その他の設定とパラメータ | 75 |
| | アフターサービス | 76 |
| | 保証書 | 79 |

1 安全上の注意 <必ずお守りください>

- ご使用前に必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告



必ず、指導および訓練を受けたスタッフにより設置し操作する
(火災、感電、やけど、けがの原因)

漏電遮断器付、定格30A(単相三線200V)の専用電源を単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。
- 電源プラグを使用する際には必ず指定された定格を有するものを使用する。

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体に破損や変形がある。
- 本体から水や蒸気が漏れる。

※ 異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



警告



しっかり固定された、強度が十分な耐熱性のある平らな場所に置く
(やけど、けがの原因)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む
(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的に乾拭き掃除をする
(火災の原因)

本体を手作業で移動させるときは、保護手袋をつけ、必ず二人以上で作業する
(けがの原因)



電源プラグ・コードを破損させない
(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない。
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。
- 火に近づけたり、高温部に近づけたりしない。

※ 電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

屋外で使用しない
(火災、感電、やけどの原因)

水や蒸気のかかる場所、火気・熱源の近く、凍結の恐れのある場所で使用しない
(火災、感電の原因)

分解、修理、改造をしない
(火災、感電、やけどの原因)

- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理したりしない。

豆ホッパー（グラインダー）に液体を入れない
(火災、感電の原因)

子供、取り扱いに不慣れな人、介助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 子供が機器（電源コード含む）で遊ばないように監視する。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)

1 安全上の注意



注意



お手入れは必ず各部が冷えてから行う

(けが、やけどの原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。



お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない

(けがの原因)

使用中および使用後しばらくは抽出口やスチームノズル、給湯ノズルに触れない

(やけどの原因)

- 抽出中、お湯や蒸気を出している最中に抽出口や蒸気が出るところに顔などを近づけない。

抽出中や給湯中にトレイを取り外さない

(やけどの原因)

本体や電源プラグコードに水をかけない

(火災、感電の原因)

- 水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない。

※ 誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

設置場所について



設置場所は以下の環境に注意してください。

- 水平で強度が十分であること
- 水や蒸気のかかる場所でないこと
- 火気・熱源の近くでないこと
- 凍結する恐れがないこと
- 高温・多湿でないこと
- 直射日光が当たらないこと
- 高圧洗浄機を使用する場所でないこと

※ 本機の動作温度は 10 ～ 32℃です。

※ 市販のミルク用冷蔵庫を設置する場合は、別途、設置場所を確保してください。

2 概要説明

このマニュアルは、取り扱い・保守・点検などに関する本製品の取り扱い方法について、ユーザー、専門業者、サービス技術者に説明するためのユーザーマニュアルです。ご使用になる前にこのマニュアルに書かれた内容を十分にお読みになり正しくお使いください。なお、お読みになった後は大切に保管してください。本書に記載の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。

2.1 本機について

本製品はホットコーヒー抽出、給湯、スチーム、ホットミルク用に設計された、室内専用の業務用全自動コーヒーマシンです。

- 必ず指導および訓練を受けた、または資格を有する技術者、専門業者、施工業者、またはそれに類するスタッフによりお取り扱いください。
- 取り扱いおよび保守に関し、指導および訓練を受けた管理者、スタッフが監視、管理できる場所にのみ設置してください。
- このマニュアルで説明されている内容以外の方法、その他の用途で使用しないでください。



本製品は安全に責任を負う人により監督者がつけられるか、または事前に本製品の使用方法について十分な説明が行われた場合を除き、製品に関する知識のない方、体力、感覚能力が著しく低下した方など、本製品を取り扱うのに不適切と思われる方の使用を想定していません。また、本製品で子供が遊ぶことのないよう十分に注意し、管理してください。

〈凍結してしまったら…〉

凍結が確認されたときは、電源を入れず、自然解凍するまで（水道から給水ができるまで）待ちます。機器や配管（給水・排水）から水漏れなどがないかよくご確認のうえ、電源を入れます。洗浄、給湯、抽出など正常に機能しているか、給水、排水管から水が漏れていないか、よく確認してから使用を開始してください。製品に異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店へご連絡ください。

2 概要説明

2.1.1 主な機能

| | |
|---|--------|
| 2杯同時抽出 | ✓ |
| エスプレッソ | 140杯/h |
| カプチーノ | 140杯/h |
| 給湯量 (200mL) | 150杯/h |
| ミルクメニュー | ✓ |
| MAD (Micro Air Dosing : マイクロエア注入) | ✓ |
| EMT (Electronic Milk Texturing : 電子ミルクテクスチャリング) | ✓ |
| VTT (Variable Tea Temperature : 可変給湯温度) | ✓ |

2.2 各部の名称

2.2.1 前面



① 豆ホッパー／クリーニングボール投入口
（“2.2.4” 14 ページ参照）

② カップウォーマー

③ タッチパネル

④ 抽出口

⑤ スチームノズル

⑥ フロントパネル

⑦ トレイ

⑧ 給湯ノズル

2 概要説明

2.2.2 トレイ



① 主電源スイッチ (“5.2” 24 ページ参照)

② トレイ

③ 給水口

④ カス受け

2.2.3 タッチパネル

タッチパネルとメニューボタンはタッチセンサー式です。



① 給湯タッチホイール／ボタン

(“5.6.3” 27 ページ参照)

② 停止ボタン (“5.7” 31 ページ参照)

③ メニューボタン

(“3” 18～21 ページ参照)

④ スタンバイボタン

(“5.2.1” 24 ページ参照)

⑤ スチームタッチホイール／ボタン

(“5.6.4” 28 ページ参照)



設定に応じて、各タッチホイール(①⑤)は、タッチホイール・ボタン、またはその両方として使用できます。停止ボタンとスタンバイボタンの表示は、設定によって非表示にできます。設定を変更する場合は、サービスマンのユーザー権限が必要です。(“9.2 ユーザー権限” 69 ページ参照)

2 概要説明

2.2.4 上部(豆ホッパー)



① コーヒー粉投入口

② 豆ホッパー (左)

③ 豆ホッパー左ふた

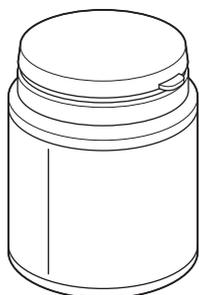
④ 豆ホッパー右ふた

⑤ 豆ホッパー (右)

⑥ クリーニングボール投入口ふた

⑦ クリーニングボール投入口

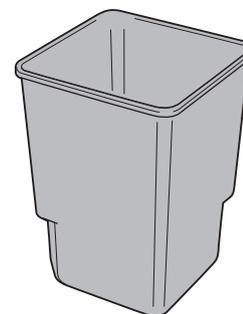
2.2.5 付属品



クリーニングボール
コーヒー経路の洗浄
に使用します



エバクリーン
エバクリーン用ポンプを
取り付け、ミルク経路の
洗浄に使用します



洗浄用コンテナ
エバクリーンを入れ
る容器です

給水ホース
長さ 2m、ステンレ
ス鋼網組ホース

**給水用スクリュー
キャップ**
口径 G3/8

排水ホース
長さ 2m、
直径 23mm

エバクリーン用ポンプ
エバクリーンのタンクに
取り付けます

ホースクランプ
16 ~ 27mm

**排水接続用
Oリング (予備)**
内径 15.6mm
外径 1.78mm

2 概要説明

2.3 仕様

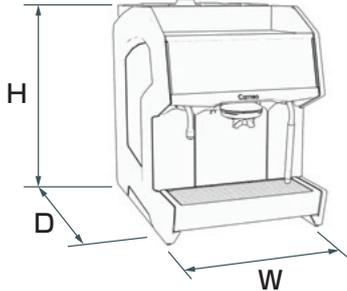
2.3.1 抽出能力

| | |
|-------------|--------|
| 抽出能力 | 2杯同時抽出 |
| エスプレッソ | 140杯/h |
| カプチーノ | 140杯/h |
| 給湯量 (200mL) | 150杯/h |

2.3.2 型式番号

c'2m

2.3.3 寸法と重量

| | | |
|--------|-------|--|
| 幅 (W) | 430mm |  |
| 高さ (H) | 580mm | |
| 奥行 (D) | 600mm | |
| 重量 | 63 kg | |

2.3.4 電力要件

単相 200V、2/PE、30A、50/60Hz



周波数の調整は自動です。操作は必要ありません。
電圧 / 電流仕様は、上の表に示されています。

2.3.5 環境条件



定義された環境条件の範囲を超えて本機を使用しないでください。

| | |
|-----------|------------|
| 動作温度 | 10°C～32°C |
| 保管および輸送温度 | -10°C～50°C |

2.3.6 その他の仕様

| | |
|------------|---|
| 抽出チェンバー容量 | 最大 24 g |
| グラインダー | セラミックグラインダー×2 |
| 操作画面 | 15.7 インチカラータッチパネル |
| 豆ホッパー容量 | 1.2 kg × 2 |
| カス受け容量 | 400 g |
| 抽出口の高さ | 70 ～ 165 mm |
| 給湯口の高さ | 150 mm |
| 通信インターフェース | USB、SD カード、Ethernet、シリアル、RS-232、CCI、CSI |
| コーヒーボイラー容量 | 0.8 L |
| スチームボイラー容量 | 1.6 L |
| 給水ホースの接続 | ステンレス網状組ホース G3/8、長さ 2 m |
| 排水ホースの接続 | 外径 23 mm 内直径 16 mm、長さ 2 m |
| 全硬度 | 最大 120mg/L |
| 炭酸塩硬度 | 最大 6° KH (107ppm) |
| pH 値 | 7.0 ～ 7.2 (推奨) |

3 ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートによって設定できる項目が変更になる場合があります。予めご了承ください。

3.1 タッチパネルの使用

本機はタッチパネルを使用して操作します。

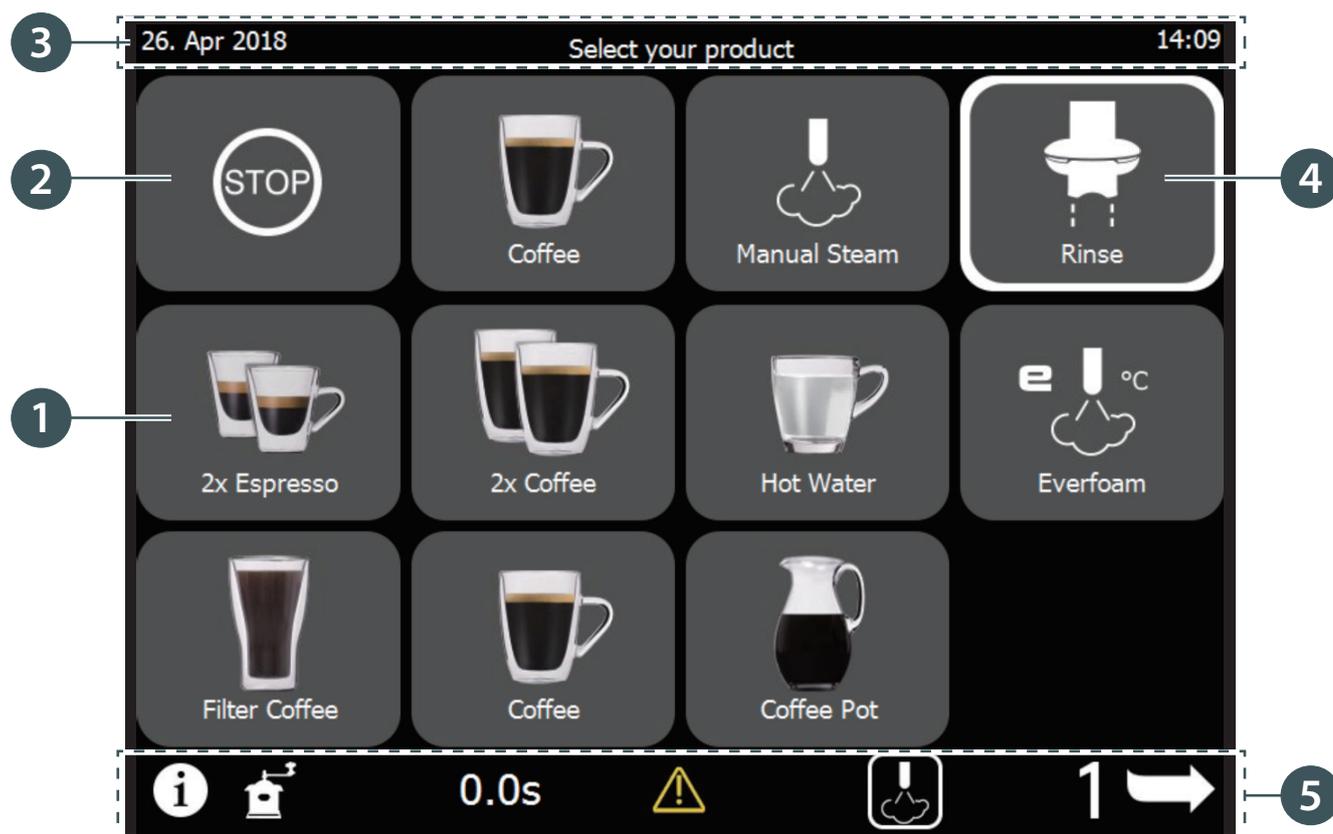
- 操作はボタンを押して行います。
- リンスボタンが非表示の場合は、ログインボタンを押して表示します。
- ログインページを開くにはログインボタンを長押しします。
- 設定を調整するにはスライダーをスライドします。

3.2 メイン画面

メイン画面では、ソフトウェア機能とコーヒーメニューにアクセスできます。



表示するドリンクメニューとボタンは、設定によって異なります。
点滅するボタンは、ユーザーが操作を行う必要があることを示します。
白い縁で囲まれたボタンは、準備中であることを示します。



- ① ドリンクメニューボタン
("3.3" 20 ページ参照)
- ② 停止ボタン ("5.7" 31 ページ参照)
- ③ ヘッダーストリップ
("3.2.1" 19 ページ参照)

- ④ リンスボタン
("5.3" 25 ページ参照)
- ⑤ フッターstriップ
("3.2.2" 19 ページ参照)

3.2.1 ヘッダーストリップ

ヘッダーストリップは、リンスページが表示されている場合を除き、常に表示されています。（“5.3” 25 ページ参照）



① ログインボタン

（“6.1” 34 ~ 35 ページ参照）

② 日付（日、月、年）

③ 時刻



言語、タイムゾーン、日付を変更するには、“6.5”（39 ページ）を参照してください。

3.2.2 フッターstriップ

フッターstriップは常に表示されていますが、表示するボタンは設定によって異なります。



① ヘルプボタン

（“3.4” 21 ページ参照）

② グラインダー設定ボタン

（“3.5” 21 ページ参照）

③ 抽出時間（秒）

④ 通知ボタン

（“8.1” 53 ページ参照）

⑤ フラッシングボタン

（“5.6.5” 29 ページ参照）

⑥ ページ送りボタン

3 ソフトウェア

3.3 メニューボタン

| 抽出ボタン | 説明 | 抽出ボタン | 説明 |
|---|-------------------------------------|---|--------------|
|  | リストレット |  | カフェ・ラテ |
|  | 2 × エスプレッソ |  | カプチーノ |
|  | ホットコーヒー |  | フォームミルク |
|  | アメリカーノ |  | エスプレッソ・マキアート |
|  | ポットコーヒー |  | ラテ・マキアート |
|  | フィルターコーヒー |  | ミルク |
|  | 給湯 |  | マニュアル・スチーム |
|  | 計量スプーンアイコン付 メニューボタン (例：デカフェ用) |  | オート・スチーム |
| | |  | e' フォーム |

3.4 ヘルプボタン



このボタンの表示は、設定によって非表示にできます。設定を変更する場合は、サービスマンのユーザー権限が必要です。("9.2.3" 73 ページ参照)

ヘルプボタンを押すと、以下のようなヒントにアクセスできます。

- 本機の洗浄を開始する。
- USBドライブにデータを保存する。(ログインする必要があります)
- ソフトウェアなどの更新。

3.5 グライNDER設定ボタン



このボタンの表示は、設定によって非表示にできます。設定を変更する場合は、サービスマンのユーザー権限が必要です。("9.2.3" 73 ページ参照)

グラインダー設定ボタンを押すと、「グラインダー設定」メニューが開きます。



グラインダーの調整は“6.6 グラインダー設定”(41 ページ)を参照してください。

4 準備

4.1 初めて使う

本機を初めて起動する前に、“1 安全上の注意”（6～8 ページ）をよくお読みください。



必ず漏電遮断器が設置された、単相三線、交流 200V（30A）の専用電源に単独で接続してください。

据付は、販売店または専門業者が行ってください。本機を手作業で移動させるときは、保護手袋をつけ、必ず二人以上で作業してください。



サービスマンが本機の初回起動を行い、その操作についてユーザーに指導します。

4.2 設定の変更

工場出荷時のパラメータを変更する場合は、サービスマンのユーザー権限が必要です。初回起動時にサービスマンとともに、“9.2 ユーザー権限”（69 ページ）をご確認ください。

5 操作



本機でドリンクを抽出する前に、“1 安全上の注意”（6～8 ページ）をよくお読みください。

ご不明な点があれば、サービスマンにお問い合わせください。



コーヒーの品質は多くの要因に左右されます。新鮮なコーヒー豆を使い、定期的に洗浄し、“7 お手入れ”（44～52 ページ）に従ってお使いのマシンを点検することが大切です。

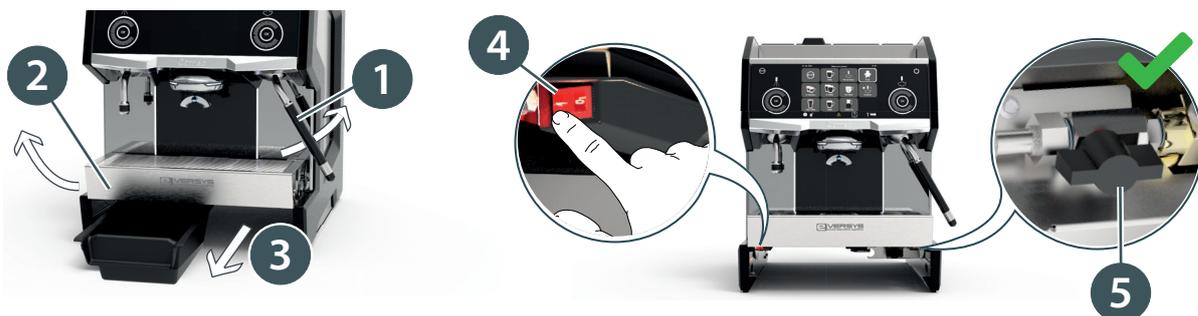
5.1 毎日のマシンの立ち上げ手順

| 手順 | 参照する章 |
|------------------------------|------------------|
| A. 主電源を入れる。（電源が入っている場合は B へ） | 5.2 （24 ページ参照） |
| B. スタンバイボタンで起動する。 | 5.2.1 （24 ページ参照） |
| C. 必要に応じて、エラーを確認する。 | 8.1 （53 ページ参照） |
| D. リンスボタンを押して、洗浄を行う。 | 5.3 （25 ページ参照） |
| E. カス受けを空にする。 | 5.8 （32 ページ参照） |
| F. 新鮮な豆を入れる。 | 5.4 （26 ページ参照） |
| G. クリーニングボールを補充する。 | 7.3.6 （52 ページ参照） |
| H. コーヒーを抽出する。 | 5.6 （27 ページ参照） |

5 操作

5.2 電源を入れる

- A. スチームノズルを右に移動します ①。
- B. トレイを持ち上げ ②、カス受けを取り外します ③。
- C. 主電源スイッチを「I」の方へ押しして起動します ④。
- D. 給水ホースの注水口が開いていることを確認します ⑤。
- E. カス受けを取り付け、トレイを元の位置に押し込みます。



5.2.1 スタンバイ(起動)



- A. スタンバイボタンを長押しして起動します ①。



スタンバイモードでは、ボイラーの加熱、タッチパネル、フロントイルミネーションなどの機能がオフになります。毎日の使用後は、スタンバイモードにしておくこともできます。しばらく使用しないときは、32 ページを参照して主電源を切ってください。

5.3 リンス



本機を立ち上げる時は、必ずリンス（洗浄）を行う必要があります。
リンスボタンが点滅してお知らせします。

A. リンスボタン①を押すことで、いつでも洗浄することができます。

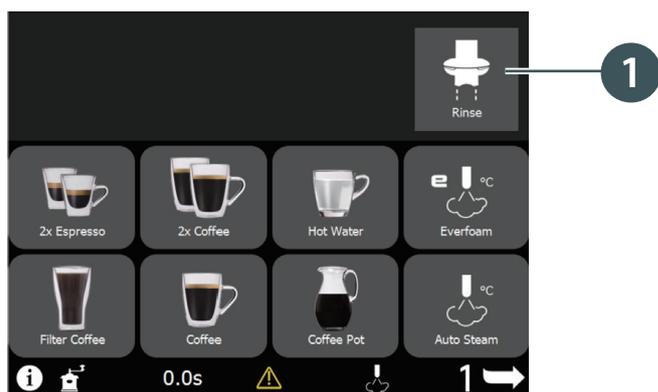


リンスボタンを押すと、抽出口から熱湯が出るので手や顔を近づけないでください。
(やけどの原因)



リンスボタンが非表示の場合は、ログインボタンを押してリンスボタンを表示します。

スワイプダウンしたページの例：



5.3.1 予熱リンス



「抽出経路の予熱」機能を有効にすると、約10分のアイドルモード（抽出が行われない状態）の後、予熱リンスが必要になります。



「抽出経路の予熱」を有効にするには、サービスマンのユーザー権限が必要です。

5.3.2 オートリンス

最後のミルクメニューを抽出した後、約5分経過すると、自動でリンスを開始して
抽出口を洗浄します。使用後は、必ず自動クリーニングでお手入れしてください。
("7.3.1" 47 ページ参照)

5 操作

5.4 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる



グラインダーには絶対に手を入れないでください。(けがの原因)



コーヒー豆は必ず新鮮なものを使用し、冷暗所に保管してください。

以下の手順で、豆ホッパー(左)③を補充します。同じように豆ホッパー(右)④も補充してください。

- A. 豆ホッパー(左)③のふたを取り外します。→センサーが働いて、実行中の動作はすべて停止し、本体の操作ができなくなります。
- B. 豆ホッパーがロックされていることを確認します②。



ロックされていない場合①、豆ホッパーが正しく取り付けられていないため、コーヒー豆が挽かれません。

- C. 新鮮な豆を補充します⑤。
- D. 左のふたを閉めます⑥。→操作ができるようになります。



5.5 カップウォーマー

- A. カップウォーマーにカップを置いて温めます。



カップとカップウォーマーは熱くなっている場合があるため、注意してください。



5.6 ドリンクの抽出

ここでは主なドリンクを例にとって説明しています。

※ドリンクメニューを変更するには、サービスマンのユーザー権限が必要です。“9.2.2 ドリンクメニュー” (70～71 ページ) を参照してください。



すべてのメニューボタンで停止／開始の操作をします。
ボタンを押してドリンクの抽出を開始します。抽出を途中で止めたいときは、同じボタンを押すか停止ボタンを押してください。

5.6.1 抽出口を調節する

A. 抽出口 **2** を上下に動かして、カップの高さに合わせることができます。



70～165mm に調節できます。



5.6.2 コーヒー抽出



- A. 抽出口 **2** の下にカップを置きます。
- B. 抽出したいドリンクメニューボタンを押して、コーヒーを抽出します。

5.6.3 給湯



- A. 給湯ノズル **1** の下にカップを置きます。
- B. 給湯ボタンを押して、給湯します (例：お茶を入れる)。
※給湯タッチホイール／ボタンを使って、給湯することもできます。

5 操作

5.6.4 スチームを出す

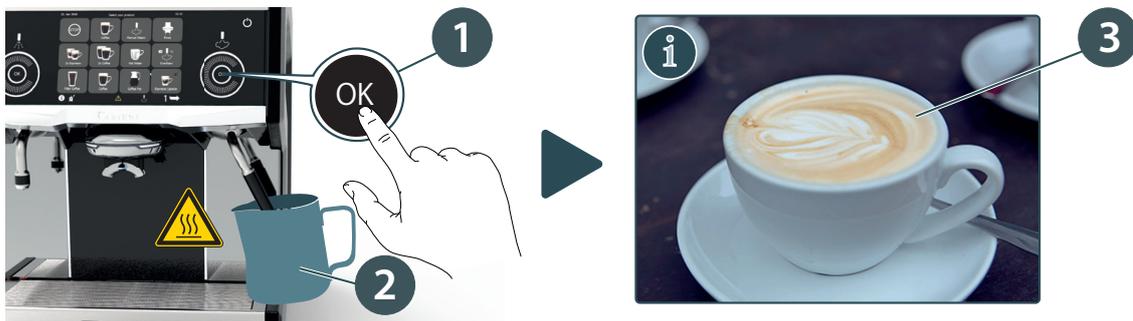


- A. スチームノズルを使用する前に、余分な水を抜くためにフラッシングボタンを押します。（“5.6.5” 29 ページ参照）
- B. 新鮮な冷たい牛乳を 1/3 まで入れたミルクジャグにスチームノズルを差し込みます
②。
- C. 上記のいずれかのボタンを押し、スチームを出してミルクを泡立てます。（フォームミルクを作ったり、ラテアートを施したりします③）。



スチームノズルをミルクジャグ内に浸したままにしないでください。

- E. スチームタッチホイール／ボタンを使って、スチームを出すこともできます。
- F. フラッシングボタンを押してスチームノズルに残ったミルクを抜いて、スチームノズルを拭きます。（“5.6.5” 29 ページ参照）



5.6.5 フラッシングボタン



- A. スチームボタンを使用する前と使用した後は、毎回スチームノズルの中に残った水分やミルクを抜いてください。
- B. メイン画面でフラッシングボタンを押します ①。
- C. または表示されたメッセージ画面で、フラッシングボタンを押します ②。
- D. スチームノズルを固く絞った濡れ布巾で拭きます ③。布巾は毎日交換してください。



5 操作

5.6.6 コーヒー粉抽出(例：デカフェ用)



コーヒー粉から抽出するときは、設定の変更が必要です。ドリンクメニューの設定で、コーヒー粉から抽出したいメニューを選び、「豆ホッパー」を押して、「コーヒー投入口」を選択してください。



コーヒー粉投入口にはコーヒー粉だけ入れてください。

- A. 計量スプーンの付いたボタンを押します ①。
- B. 抽出口の下にカップを置きます。
- C. コーヒー粉投入口を開けます。
- D. コーヒー粉 1 人分(最大量約 20g)を入れます ②。エスプレッソ用極細挽きコーヒー粉を使用してください。
- E. コーヒー粉投入口のふたを閉じ ③、「次へ」を押してドリンクを抽出します。



5.7 停止

A. 途中で抽出を停止するには、停止ボタン①または②を押します。



設定によって停止ボタンを非表示にできます。設定を変更する場合は、サービスマンのユーザー権限が必要です。“9.2.3 ディスプレイ” (72 ~ 73 ページ)



豆ホッパーのふたを取り外すと、センサーが働いて実行中の動作はすべて停止し、操作ができなくなります。



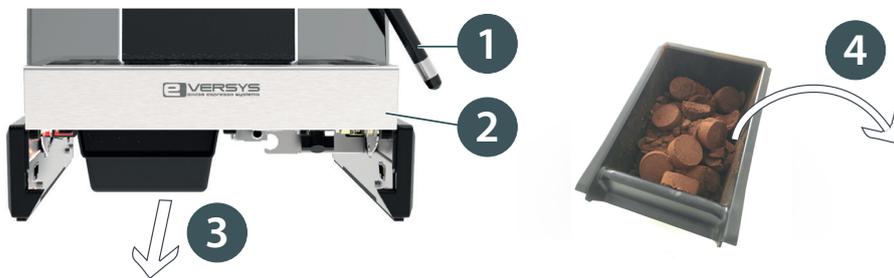
5 操作

5.8 カス受けを空にする

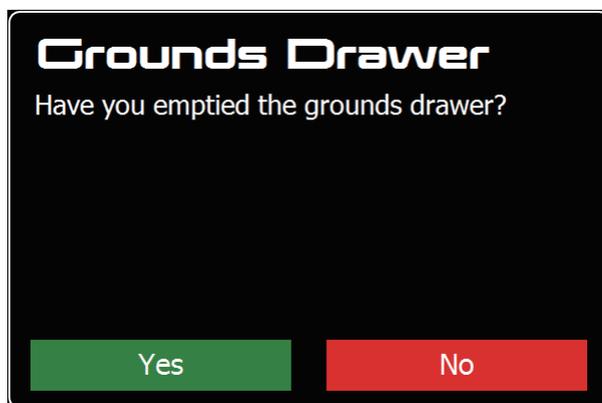


初回起動後または洗浄中はカス受けに熱湯が入っていることがあるため、十分に注意してカス受けを空にしてください。（やけどの原因）

- A. カス受けがコーヒーカスでいっぱいになったら、以下の手順で空にしてください。
- B. スチームノズルを右に移動します ①。
- C. トレイを持ち上げ ②、カス受けを取り外します ③。
- D. カス受けを空にし ④、トレイの下に取り付けます。



- E. カス受けを空にしたことを確認します。



5.9 電源を切る

- A. 電源ボタンを長押しして「standby mode」を押してから、主電源スイッチを「**○**」（オフ）にして、電源を切ります。詳細については「5.2 電源を入れる」（24 ページ）を参照してください。

5.10 1日の終わりに



においや、コーヒーやミルクのカスがたまって目詰まりするのをふせぐため、1日の終わりに自動クリーニングを行ってください。“7.3.1 自動クリーニング手順” (47 ページ)

5.11 緊急停止



本機が完全に停止状態になり、どの操作にも応答しない場合にのみ緊急停止を実行してください。

すべての機能を停止するには、以下のいずれかを行います。

- 主電源スイッチで電源を切ります ①。
- 電源コードをコンセントから抜きます。



主電源スイッチと電源コードに、いつでも手が届く状態に本機を設置してください。コンセントは本機の近くで、スタッフの手の届きやすい場所を使用してください。



6 プログラムモード



トレーニングを受けていないスタッフにパスワードを知らせないでください。間違った入力や変更により、コーヒーの品質が低下する場合があります。



この章のディスプレイ表示は、ユーザー権限によって異なります。詳細については、“9.2 ユーザー権限” (69 ページ) を参照してください。

6.1 ログイン

- A. ログインボタンを長押しします。“3.2.1 ヘッダーストリップ” 19 ページ参照)
→パスワード入力画面が表示されます。



- B. パスワードを入力し、プログラムモードにアクセスします。
→プログラムメニューが表示されます。
- C. パスワードを忘れた場合は、仮パスワードを要求してください。「仮パスワードを取得」を押し、表示された番号をサービスマンに提示してください。

1 メニューの例（スタッフ権限）

 スタッフ権限では、操作履歴（ドリンクカウンター）とクリーニング履歴を表示できます。



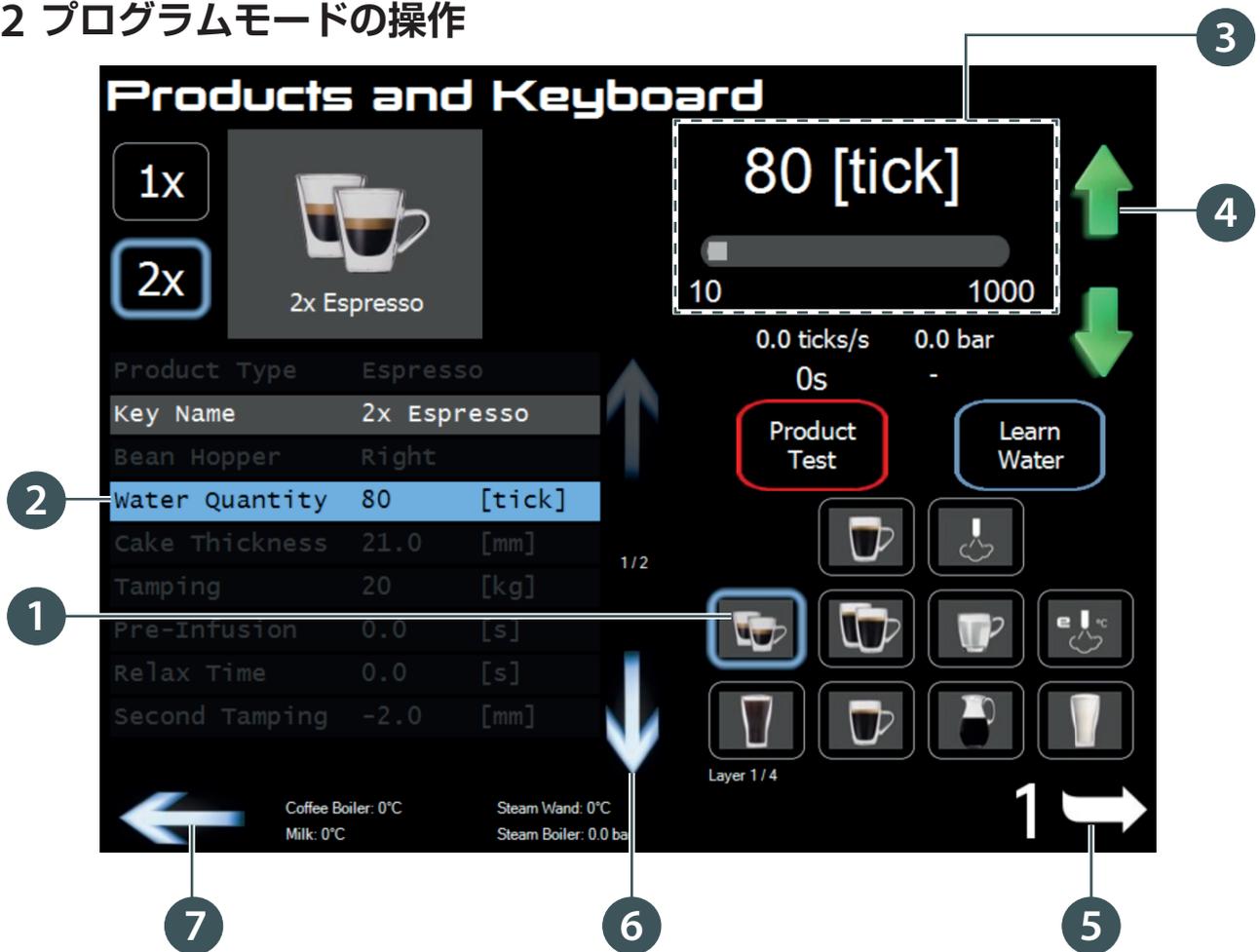
2 メニューの例（マネージャー権限）

 マネージャー権限は、ドリンク設定およびディスプレイ設定への制限付きアクセスです。すべての操作履歴を表示できます。



6 プログラムモード

6.2 プログラムモードの操作

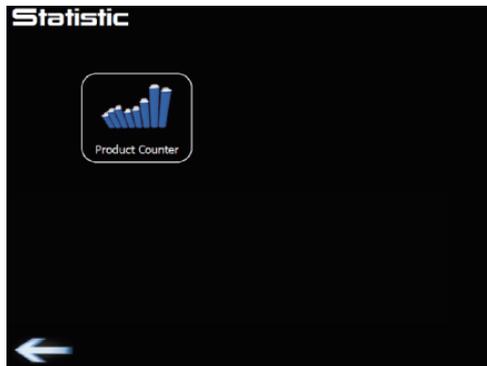


- ① 設定を変更するメニューを押して選択する
- ② サブメニューのタッチバーを押して、設定を表示する
- ③ スライダー：指を左右にスライドさせて、設定を増減する
- ④ 「増やす」ボタン：設定値を増やす
「減らす」ボタン：設定値を減らす
- ⑤ ページ送りボタン：メニューページを送る
- ⑥ 「上へ」ボタン：メニューの上部を表示する
「下へ」ボタン：メニューの下部を表示する
- ⑦ 戻るボタン：1つ前に戻る

6.3 操作履歴

このメニューでは以下の機能にアクセスできます。

- ドリンクカウンター
- 履歴



すべてのカウンターはユーザー権限によって制限されます。必要に応じて、カウンターをリセットできます。

6.3.1 ドリンクカウンター



累計カウンターの例：



6 プログラムモード

6.4 ドリンクメニュー

マネージャー権限により、以下の設定を変更できます。



お湯の量は、スチームボイラーから出る場合は時間（秒）で、コーヒーボイラーから出る場合は tick/ 秒（水量計により制御）で設定します。

調整の範囲は、0 ~ 1,000tick です。ミルクの量は時間（秒）で設定します。調整の範囲は、0 ~ 100 秒です。

- 1 メニュー名：押して、新しい名前を入力します。（最大 13 文字、英数字のみ）
- 2 「ミルクの量」を押して、秒数を変更します。（ミルクドリンク専用）
- 3 「水量」のタッチバーを押して、tick/ 秒の数値を変更します（スライドバーまたは上/下キーを使用して調整します）。



- 4 「定量設定」を押します。
 - A. 「定量設定」を押して、コーヒーを抽出します。
 - B. カップに必要な水量が注がれたら、もう一度同じボタンを押して停止します。
→水量が記録されます。
- 5 抽出テスト
「抽出テスト」を押して、最低 6 杯抽出して、調整後の抽出を確認してください。抽出時間を調整するには、“6.6 グライNDER設定”（41 ページ）を参照し、粒度を調整してください。

e' フォームおよびオートフォームメニュー

「スチーム停止温度」を調整することができます。

給湯メニュー

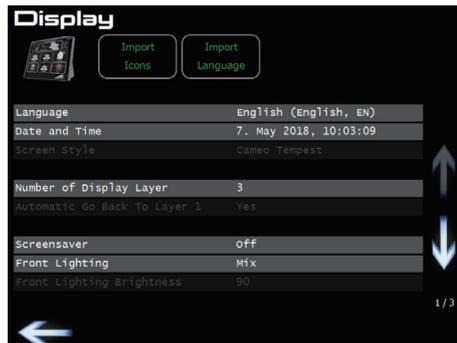
「給湯温度」を調整することができます。

6.5 ディスプレイ

マネージャー権限により、言語、新しいアイコンのインポート、日付、メニューページ数、スクリーンセーバーおよびフロントイルミネーションの設定ができます。



EN (英語)、FR (フランス語)、DE (ドイツ語)、NL (オランダ語) に設定することもできます。



日付と時刻

画面の指示に従います。必要に応じて、日時を設定します。



フロントイルミネーション

- オフ：フロントパネルの照明なし
- カラー：フロントパネルに設定する色
- Mix：全8色のイルミネーションを3分以内に順番に表示します。

メニューページ数

1～3ページ (1ページあたり12ドリンクまで登録可能)

6 プログラムモード

6.5.1 アイコンのインポート

「Import Icon」 ボタンを押します。
→表示される指示に従ってください。



「Icon」 ファイルを USB ドライブのメインディレクトリに保存します。
「アイコンを全て消去」 ボタンを押すと、インポートしたすべてのアイコンを削除します。

6.5.2 言語のインポート

「Import Language」 ボタンを押します。
→表示される指示に従ってください。



「Language」 ファイルを USB ドライブのメインディレクトリに保存します。
「言語を全て消去」 ボタンを押すと、英語以外のすべての言語を削除します。



6.6 グライNDER設定

「グラインダー設定」メニューから、「豆ホッパー（左）」（緑色）または「豆ホッパー（右）」（青色）を 1/100mm 単位で調整できます。

- 細かい: 「-」
- 粗い: 「+」



6.6.1 調整に関するヒント



グラインダーをより細かく、またはより粗く調整すると、抽出時間が増減します。エスプレッソ 2 杯分（各 25mL）の最適な抽出時間は、約 18 ～ 23 秒です。

6 プログラムモード

6.7 クリーニング／スタンバイ

クリーニング後のスタンバイ

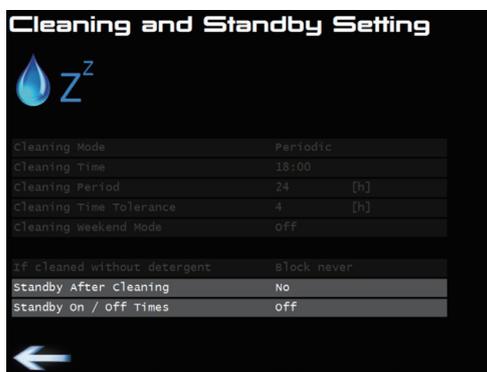
- 「いいえ」: 洗浄後にマシンは引き続き動作します。
- 「はい」: 洗浄後にマシンはスタンバイモードに切り替わります。

オートオンとスタンバイ機能

曜日を選択し、時間を設定します。

→本機は自動的にオンになり、洗浄、予熱を行います。

※「クリーニング後のスタンバイ」設定を「はい」に設定している場合は、オートスタンバイの時間が自動で「クリーニング後」になります。

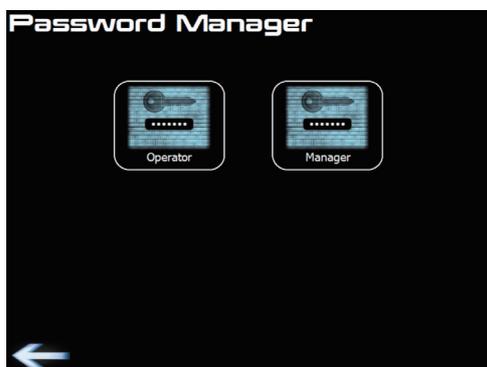


6.8 パスワード

2つのユーザー権限が利用可能です。パスワードは権限ごとに設定できます。



パスワードは忘れないようにしてください。



6.9 ログアウト

サービスマンがログアウトするのを忘れた場合、本機で作業している人がいないことを確認してから、ログアウトを押してください。



7 お手入れ



- 本機のクリーニングを行う前に、“1 安全上の注意”（6～8ページ）をよくお読みください。ご不明な点があれば、サービスマンにお問い合わせください
- 必ず専用のエバシスクリーニングボールとエバクリーンを使用してください。
- 万一飲み込んだ場合は、無理に吐かず、水で十分に口をすすいだ後、医師にご相談ください。
- 洗浄液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で数分間洗い流した後、医師にご相談ください。
- お手入れをしても正常に機能しない場合は、サービスマンにお問い合わせください。
- 食器洗い機は使用しないでください。

7.1 クリーニングと定期点検

7.1.1 クリーニング

清潔な状態で使用し、コーヒーの品質を最適な状態に保つため、定期的なクリーニングを行ってください。

本機で提供したドリンクが健康被害につながることはないように、管理してください。

本機のお手入れとクリーニングを適切に行わないと、ミルクメニューの抽出時、不衛生になる場合があります。

自動クリーニングはすべて履歴に記録されます。

7.1.2 メンテナンス

本機は、12ヵ月または50,000回の抽出ごとに点検を受ける必要があります。メンテナンスは、メーカーに指名されたサービスマンのみが実行できます。メンテナンス作業については、担当のサービスマンにお問い合わせください。



7.2 定期クリーニング

7.2.1 クリーニング計画

| 説明 | | 毎日 | 週に 1 回 | 必要に応じ | 参照 |
|-----------------------|----------------------------|----|--------|-------|--------|
| リンス | | | | ✓ | 25 ページ |
| ク リ ー ン グ | 自動 コーヒー抽出経路 クリーニングボール使用 | ✓ | | ✓ | 47 ページ |
| | ミルク経路 エバクリーン使用 | ✓ | | ✓ | 47 ページ |
| スチームノズル | | ✓ | | ✓ | 29 ページ |
| 抽出口 | | | ✓ | ✓ | 50 ページ |
| 豆ホッパー | | | ✓ | ✓ | 50 ページ |
| 本体とディスプレイ | | ✓ | | ✓ | 51 ページ |
| トレイ | | ✓ | | ✓ | 51 ページ |
| カス受け | | ✓ | | ✓ | 49 ページ |
| クリーニングボール投入口の目視点検 | | ✓ | | ✓ | 52 ページ |

7 お手入れ

7.2.2 クリーニングタイムテーブル

V = 目視点検、**C** = お手入れ



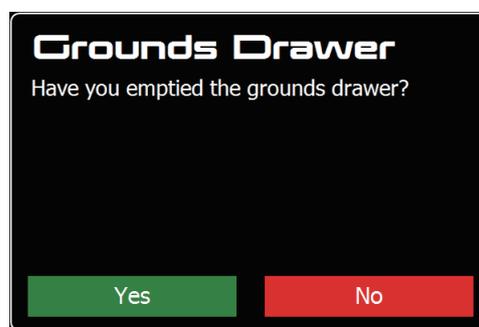
7.3 クリーニング手順

7.3.1 自動クリーニング手順(ミルクを含む)

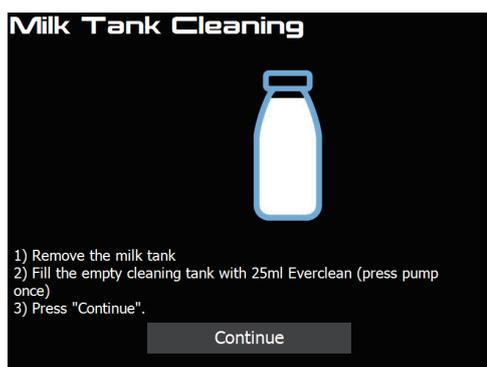
自動クリーニングはいつでも行うことができます。通知が出た時は、クリーニングを必ず行ってください（キャンセルすると、設定によってはクリーニングが行われるまで抽出できない場合があります）。



- A.** リンスボタンを 3 秒間長押しして、自動クリーニングを行います。
 → 「クリーニングを開始しますか？」メニューが表示されます。
 → 「カス受けを空にしてください」と表示されたら、カス受けを空にします。



- B.** 「はい」を押します（または、「いいえ」を押してキャンセルします）。
 → 「ミルクタンク洗浄」メニューが表示されます。



7 お手入れ

- C. 洗浄用コンテナ^{1.1}にエバクリーンをワンプッシュ（25mL）入れ、その中にミルクチューブを入れます^{1.2}。
- D. 「次へ」を押します²。



→ 「洗浄中」と表示されます。



すべての処理を終了するのに約 12 分かかります。



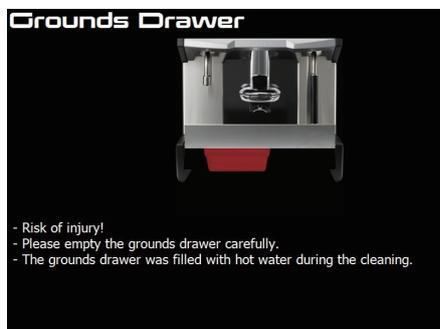
自動クリーニング中は熱い洗浄液とスチームが数回出ます。抽出口や抽出口の下部に触れないでください。（やけどの原因）

- E. クリーニングが完了したら、洗浄用コンテナを取り外し、洗浄します³。



F. ミルクチューブを固く絞った濡れ布巾で拭きます。

G. 「次へ」を押します。
→ 以下の画面が表示されます。



H. カス受けを空にし、中性洗剤を使って洗浄します ④。

I. カス受けをすすいで乾かします ⑤。



カス受けには熱湯が入っているため、十分に注意して空にしてください。
(やけどの原因)

J. トレイを持ち上げ、カス受けを取り付けます ⑥。



7 お手入れ

7.3.2 抽出口

抽出口は、以下の手順で洗浄します。

- A. 主電源スイッチで本体の電源を切ります。詳しくは“5.9 電源を切る” (32 ページ) を参照してください。
- B. 抽出口を少し傾け ①。ゆっくり引っ張って、取り外します ②。
- C. 中性洗剤を使って洗浄し、ナイロンブラシを使って穴をきれいにします ③。
- D. 逆の順序でゆっくり取り付けます。



7.3.3 豆ホッパー（およびコーヒー粉投入口）

豆ホッパーは、以下の手順で洗浄します。

- A. 主電源スイッチで本体の電源を切ります。詳しくは“5.9 電源を切る” (32 ページ) を参照してください。
- B. 左右の豆ホッパーのふたを取り外します ①。
- C. 豆ホッパーのロックを解除します ②。
- D. 豆ホッパーを取り外し、豆は別に保管します ③。
- E. 豆ホッパーを固く絞った濡れ布巾で拭きます ④。
- F. コーヒー豆を補充する前に、豆ホッパーが完全に乾いていることを確認します。
- G. 逆の順序で取り付け、豆ホッパーをロックします。

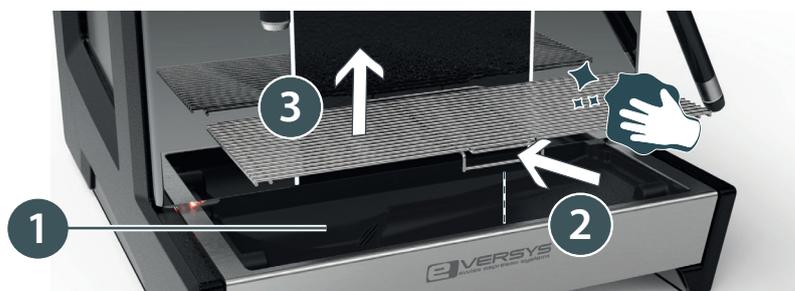


7.3.4 本体とディスプレイ

- A. 主電源スイッチで本体の電源を切ります。詳しくは“5.9 電源を切る”（32 ページ）を参照してください。
- B. 本体とディスプレイを固く絞った濡れ布巾で拭きます。

7.3.5 トレイ

- A. 主電源スイッチで本体の電源を切ります。詳しくは“5.9 電源を切る”（32 ページ）を参照してください。
- B. トレイの網を少し押し、ロックを解除し ❷、取り外します ❸。
- C. 中性洗剤を使って網とトレイの内側を洗浄し、すすぎます ❶。
- D. 網を元の位置に戻す際は、網がしっかりとハマり、平らになっていることを確認してください。



7 お手入れ

7.3.6 クリーニングボールの補充と投入口の見視点検

- A. 主電源スイッチで本体の電源を切ります。詳しくは“5.9 電源を切る” (32 ページ) を参照してください。
- B. クリーニングボール投入口のふたを取り外し ❶、投入口にクリーニングボールの詰まりや破損がないことを確認します ❸。



本体の電源が切れていることを確認してください。(けがの原因)

- C. 必要に応じて、投入口をお手入れし、詰まったり破損したりしているクリーニングボールを取り除きます。
- D. クリーニングボールを補充します。



補充するクリーニングボールに破損がないことを確認してください。

- E. ふたを元の位置に戻します ❶。



8 トラブルシューティング

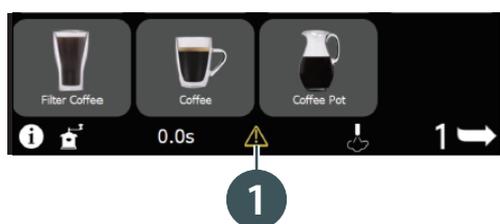


トラブルシューティングを行う前に、このマニュアルをよくお読みください。
ご不明な点があれば、サービスマンにお問い合わせください。

8.1 エラーメッセージの例

本機は、内部のトラブルシューティングおよびエラーメッセージシステムを備えています。以下の画面は例を示しています。

ユーザーによる操作が必要な場合、通知ボタンが表示されます ①。



- A. 通知ボタンを押して ①、内容と必要な操作を表示します。
- B. ディスプレイの表示に従って、問題を解決したら、「OK」を押します。
- C. ほかの注意／エラーメッセージに移動するには、矢印ボタンを押します。



8 トラブルシューティング

8.2 エラーメッセージ



以下の項目をご確認いただいても正常に機能しないか、この一覧にない他の問題が起きている場合、サービスマンにお問い合わせください。

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|--|----|
| E-000 | 豆ホッパー (右) がセットされていません | 本機の作動中に豆ホッパーが取り外された。 例：クリーニングの実行中は、豆ホッパーを取り外さないでください（クリーニングが完了してから取り外します）。 → 豆ホッパー（右）が正しく取り付けられているか確認する。 | |
| E-001 | 豆ホッパー (左) がセットされていません | 本機の作動中に豆ホッパーが取り外された。 例：クリーニングの実行中は、豆ホッパーを取り外さないでください（クリーニングが完了してから取り外します）。 → 豆ホッパー（左）が正しく取り付けられているか確認する。 | |
| E-010 | ソフトウェアのバージョンが古すぎます ソフトウェア アップデートを開始してください | CPUで使われているソフトウェアのバージョンが古すぎます。 サービスマンに連絡し、最新のソフトウェアにアップデートしてください。 | |
| E-011 | ハイドロリックユニットが接続されていません ポンプのスイッチがオフになっています | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-012 | スチームボイラーユニットが接続されていません ポンプのスイッチがオフになっています | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-013 | ブリューイングユニットが接続されていません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-014 | グラインダーユニットが接続されていません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-095 | ソフトウェアをアップデートしています お待ちください… | アップデートが終わるまでお待ちください。 | |

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|---|---------------|
| E-097 | 型式番号を設定してください | ディスプレイの型式番号が設定されていない場合に表示します。 サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-098 | ソフトウェア アップデートを開始してください | ソフトウェアが最新版ではない場合に表示します。 サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-099 | 通信エラー マシンの主電源を切り、約10秒待ってから再起動してください | ディスプレイとCPUの接続が中断された状態で30秒が経過すると表示します。 60秒が経過した時点で自動的にディスプレイが再起動して、このエラーは表示されなくなります（通常、これ以上の対処は必要ありません）。 再起動後も引き続きエラーが表示される場合は、手動で再起動します。 → 本体の主電源スイッチをオフにして、10秒以上経過した後にもう一度オンにします。通常、エラーはこれで表示されなくなります。 → 手動で再起動した後もこのエラーメッセージが表示される場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 5.2 24 ページ |
| E-100 | 圧力センサーの値が上昇しません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-102 | スチームボイラーの水抜きが一定時間内に完了しませんでした | マシンの主電源を切り、約10秒待ってから再起動してください。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 「メンテナンス」メニューの「スチームボイラーを空にする」または「スチームボイラーを減圧にする」を行った場合、スチームボイラーの水抜きまたは減圧は15分で完了します。完了しない場合は、パージバルブの故障が考えられます。 | 5.2 24 ページ |
| E-103 | スチームボイラーへの水の充填が一定時間内に完了しませんでした 給水経路を点検した後、「次へ」を押してください | スチームボイラーへの充填に時間がかかりすぎている場合は、時間切れになり、給湯とスチームを使用するメニューがすべてロックされます。 → 給水の蛇口や、浄水器のコックが開いているかどうかを確認します。 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 5.2 24 ページ |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|------------------------|--|--------------------------------|
| E-104 | タイムアウト(スチームボイラー予熱) | <p>マシンの主電源を切り、約10秒待ってから再起動してください。</p> <p>→ 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。</p> <p>スチームボイラーの予熱が一定時間内に完了しませんでした。</p> <p>スチームボイラーの内圧が基準値に達しないまま、長時間にわたって加熱されている場合に表示されます(起動直後は20分、作動中は10分)。</p> <p>ヒーティングエレメントのいずれかの熱動ブレーカー (Klixon) を復帰する必要がないか確認します。</p> | <p>5.2 24 ページ</p> |
| E-105 | スチームボイラーのコネクターが見つかりません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| E-197 | 型式番号を設定してください | <p>E-097とE-197は常に連動しています。</p> <p>→ E-097の対処方法を参照してください。</p> | |
| E-198 | ソフトウェア アップデートを開始してください | <p>E-098とE-198は常に連動しています。</p> <p>→ E-098の対処方法を参照してください。</p> | |
| E-199 | スチームボイラーの通信エラー | <p>E-099とE-199は常に連動しています。</p> <p>→ E-099の対処方法を参照してください。</p> | <p>E-099 55 ページ</p> |
| S-000 | 初期化中です お待ちください ... | 初期化が完了した後に操作してください。 | |
| S-001 | コーヒーボイラーを加熱しています | <p>コーヒーボイラーが基準温度に達した後に操作してください。</p> <p>初期化後、または本体の主電源スイッチをオンにして冷水の充填が完了した後に、両方のコーヒーボイラーは加熱を開始します。</p> | |
| S-002 | 豆ホッパー (左) がセットされていません | → 豆ホッパー (左) が正しく取り付けられているか確認します。 | <p>5.4 26 ページ</p> |
| S-003 | 豆ホッパー (右) がセットされていません | → 豆ホッパー (右) が正しく取り付けられているか確認します。 | <p>5.4 26 ページ</p> |
| S-004 | カス受けを空にしてください | カス受けを空にすると、クリーニングを開始できるようになります。 | <p>5.8 32 ページ</p> |

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|--|-----------------|
| S-005 | 注意 - カス受けに洗浄で排出した高温のお湯が入っています - お湯に注意してカス受けを抜き取ってください | クリーニング時のお湯はカス受けに排出されます。カス受けのお湯を捨ててください。 | 5.8 32 ページ |
| S-006 | カス受けがいっぱいになっています | カス受けを空にしてください。 | 5.8 32 ページ |
| S-007 | カス受けを挿入してください | カス受けが一定の時間内に挿入されませんでした。 → カス受けを挿入すると、カス受けを空にしたかどうかの確認メッセージが表示されます。（「はい」または「いいえ」で回答してください） | 5.8 32 ページ |
| S-008 | カス受けを挿入してください | カス受けを挿入すると、操作できるようになります。 | 5.8 32 ページ |
| S-009 | カス受けが取り付けられていません | カス受けを取り付けてください。 | 5.8 32 ページ |
| S-010 | 豆ホッパー（右）が空になっているか、シャッターが閉じています コーヒー豆を補充するか、シャッターを開けて「次へ」を押してください | 豆ホッパー（右）にコーヒー豆を補充するか、シャッターを開けてください。 | 5.4 26 ページ |
| S-011 | 豆ホッパー（左）が空になっているか、シャッターが閉じています コーヒー豆を補充するか、シャッターを開けて「次へ」を押してください | 豆ホッパー（左）にコーヒー豆を補充するか、シャッターを開けてください。 | 5.4 26 ページ |
| S-012 | 豆ホッパーが空になっているかシャッターが閉じています コーヒー豆を補充するか、シャッターを開けて「次へ」を押してください | 豆ホッパーにコーヒー豆を補充するか、シャッターを開けてください。 | 5.4 26 ページ |
| S-013 | コーヒー粉量が多すぎます（左） | → 前回抽出時の粉の厚み（厚すぎていないかどうか）を確認します。 → コーヒー粉からの抽出時に問題がなかったかどうか（投入した粉の量が多すぎないかどうか）を確認します。 | 5.6.6 30 ページ |
| S-014 | リンスが必要です コーヒーポイラーはリンスが終了するまで予熱を開始しません | ディスプレイ右上の「リンス」ボタンを押します。 | 5.3 25 ページ |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|--|---|
| S-015 | <p>クリーニングボール投入口を点検してください</p> <p>- クリーニングボールの詰まりや破損がないことを確認してください</p> <p>- 光センサーが汚れていないことを確認してください</p> | <p>→ クリーニングボールが詰まったり破損したりしていないことを確認します。</p> <p>詰まったり破損したりしているクリーニングボールは、取り除いてください。</p> <p>→ 光センサーが汚れていないことを確認します。</p> <p>クリーニング/スタンバイの設定項目「洗剤を使わずに洗浄した場合」を、「4回目の洗浄後にロック」に設定している場合のみ表示されます。</p> <p>ロックがかかっているときは、クリーニングボールを使ってクリーニングを行うとロックが解除されます。</p> | <p>7.3.6 52 ページ</p> <p>9.2.5 74 ページ</p> |
| S-016 | <p>クリーニングボールを使わずに洗浄されました</p> <p>- クリーニングボール投入口が空でないことを確認してください</p> <p>- クリーニングボールの詰まりや破損がないことを確認してください</p> | <p>→ クリーニングボール投入口が空になっていないかどうかを確認します。空の場合は、クリーニングボールを補充してください。必要に応じて、新しいクリーニングボールをご注文ください。</p> <p>→ クリーニングボールが詰まっていないかどうかを確認します。詰まったり破損したりしているクリーニングボールは、取り除いてください。</p> <p>クリーニング/スタンバイの設定項目「洗剤を使わずに洗浄した場合」を、「4回目の洗浄後にロック」に設定している場合のみ表示されます。</p> <p>ロックがかかっているときは、クリーニングボールを使ってクリーニングを行うとロックが解除されます。</p> | <p>7.3.6 52 ページ</p> <p>9.2.7 75 ページ</p> |
| S-017 | <p>クリーニングが必要です</p> <p>「次へ」を押してクリーニングを開始してください</p> | <p>クリーニングを実行すると、コーヒーを抽出できるようになります（クリーニングを開始する時間は、「クリーニング/スタンバイ」メニューから設定します）。</p> <p>→ 「リンス」ボタンを2秒以上長押しすると、クリーニングが開始されます。</p> | <p>7.3.1 47 ~ 49 ページ</p> |
| S-018 | <p>前回のクリーニングが正常に完了しませんでした</p> <p>「次へ」を押してクリーニングを開始してください</p> | <p>クリーニングが中断されています。</p> <p>クリーニング中に、豆ホッパーを取り外していないかどうか確認してください。</p> <p>クリーニングを再度行ってください。</p> | <p>7.3.1 47 ~ 49 ページ</p> |

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|---|---------------------------------|
| S-020 | <p>ブリューイングユニットで問題が発生しています</p> <p>ブリューイングユニットは作動していません</p> <p>→ブリューイングユニットを点検してください</p> | <p>マシンの主演源を切り、約10秒待ってから再起動してください。</p> <p>ブリューイングユニットが作動していない場合に表示します。たとえば、両側が作動していない場合や、一方の抽出チェンバーがもう一方の抽出チェンバーの作動を妨げている場合です。</p> <p>→ 本体が自動で作動停止を解除し、その後メッセージが表示されない場合、早急に点検をする必要はありません。</p> <p>ただし、数週間以内に本体の点検を実施することをお勧めします。</p> <p>→ 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。</p> | <p>5.2</p> <p>24 ページ</p> |
| S-021 | <p>カス受けがいっぱいになっています</p> <p>カス受けを空にして「次へ」を押してください</p> | <p>カス受けを空にして、「次へ」を押します。</p> | |
| S-023 | <p>クリーニングが必要です 全てのボイラーが準備完了するまでお待ちください...</p> | <p>ボイラーが準備完了するまでお待ちください。</p> | |
| S-024 | <p>- ミルクチューブを固く絞った濡れ布巾で拭いてください</p> <p>- 洗浄用コンテナを水で洗ってください</p> | <p>→ ミルクチューブを拭きます。</p> <p>→ 洗浄用コンテナを洗います。</p> | <p>7.3.1</p> <p>47 ~ 49 ページ</p> |
| S-025 | <p>お待ちください ...</p> | <p>カス受けがいっぱいになっています。抽出中のドリンクが出来上がるまでお待ちください。</p> | |
| S-026 | <p>1) ミルクコンテナからミルクチューブを取り外す</p> <p>2) 空の洗浄用コンテナにエバクリーンを1プッシュ (25mL) 入れる</p> <p>3) 洗浄用コンテナにミルクチューブを入れ、「次へ」を押す</p> | <p>1) ミルクチューブをミルクコンテナから取り外します。</p> <p>2) 空の洗浄用コンテナに、エバクリーンを1プッシュ (25mL) 入れます。</p> <p>3) エバクリーンを入れた洗浄用コンテナにミルクチューブを入れ、「次へ」を押します。</p> | <p>7.3.1</p> <p>47 ~ 49 ページ</p> |
| S-027 | <p>インターフェースを検知できず、コーヒーメニューの抽出は全てロックされています</p> <p>インターフェースの接続と設定を点検してください</p> | <p>このメッセージは、外付けインターフェース (CSIまたは CCI) を使っている場合のみ発生します。</p> <p>→ 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。</p> | |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|--|-----------------|
| S-028 | ミルクシステムが洗浄剤を使わずに洗浄されました 「エバクリーン」で洗浄するまで使用できません 正しく洗浄してください | クリーニング/スタンバイの設定項目「洗浄剤を使わずに洗浄した場合」を、「4回目の洗浄後にロック」に設定している場合のみ表示されます。 ロックがかかっているときは、エバクリーンを使ってクリーニングを行うとロックが解除されます。 | 9.2.5 74 ページ |
| S-029 | 冷蔵庫のドアが開いています 冷蔵庫のドアをしっかりと閉めてください | 冷蔵庫の扉をモニターしているときに表示されます。 (「環境設定」内、「ミルクシステム設定」の「ミルクタンクセンサー」がオンになっている場合) → 冷蔵庫の扉がきちんと閉まっているかどうかを確認します。 → センサーに異常がないかどうか点検します。 | 9.2.7 75 ページ |
| S-030 | 水タンクが空になっています 水タンクに水を補充してください | 水タンクをモニターしているときに表示されます。 水タンクに水を補充します。 | |
| S-031 | 排水タンクがいっぱいです 排水タンクを空にしてください | 排水タンクをモニターしているときに表示されます。 排水タンクを空にします。 | |
| S-032 | スチームボイラーユニットが接続されていません ポンプのスイッチがオフになっています | サービスマンにご連絡ください。 | |
| S-033 | ディスプレイが開いています ディスプレイをしっかりと閉めてください | 本機はロックされています。 サービスマンにご連絡ください。 | |
| S-034 | 豆ホッパー (左) が空になっているか、シャッターが閉じています コーヒー豆を補充するか、シャッターを開けて「次へ」を押してください | 豆ホッパー (左) にコーヒー豆を補充するか、シャッターを開けてください。 | 5.4 26 ページ |
| S-035 | 豆ホッパー (右) が空になっているか、シャッターが閉じています コーヒー豆を補充するか、シャッターを開けて「次へ」を押してください | 豆ホッパー (右) にコーヒー豆を補充するか、シャッターを開けてください。 | 5.4 26 ページ |
| S-100 | スチームボイラーを加熱しています ... | スチームボイラーの圧力が0.8bar未満の時に表示します (起動時など)。 | |

トラブルシューティング 8

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|--|---------------|
| S-101 | 主電源を切ってください | スチームボイラーが空になった場合または減圧された場合に発生します。 → 本体の主電源スイッチを切ってください。 | 5.9 32 ページ |
| S-102 | スチームボイラーを空にしています ... | スチームボイラーを空にしているときに表示されます。 → ボイラーが空になるまで待つか、停止ボタンを押して処理を中断してください。 | |
| S-103 | スチームボイラーを減圧しています ... | スチームボイラーを減圧しているときに表示されます。 → ボイラーが減圧されるまで待つか、停止ボタンを押して処理を中断してください。 | |
| S-104 | スチームボイラーを充填しています ... | → スチームボイラーが充填されるまでお待ちください。 | |
| S-105 | リンスが必要です スチームボイラーはリンスが終了するまで予熱を開始しません | 電源をオンにした後、リンスボタンを押すまでは、スチームボイラーの加熱を開始できません。 → 右上隅のリンスボタンを押してください。 | 5.3 25 ページ |
| S-106 | 期化中です お待ちください ... | 本体が初期化されるまで、しばらくお待ちください。 | |
| S-107 | スチームボイラーのセキュリティセンサーに問題があります | サービスマンにご連絡ください。 | |
| S-108 | インターフェースを検知できず、ミルクメニューの抽出と給湯は全てロックされています インターフェースの接続と設定を点検してください | 外付けインターフェース (CSI またはCCI) を使っている場合のみ表示します。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | |
| S-109 | ディスプレイが開いています ディスプレイをしっかりと閉めてください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-002 | 左のコーヒーボイラーを加熱しています ... | 1. ボイラーの温度が基準値に達するまでお待ちください (操作は特に必要ありません)。 2. このメッセージが表示されたままになる場合は、以下の手順に従います。 → 電源をオフにして、10秒後にもう一度オンにします。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|--|-------------------------------------|
| W-004 | 左の水流が弱すぎます | <p>左側の水流速度が0.3tick/秒未満です。</p> <p>→ 注水口が開放されているかどうかを確認します。</p> <p>→ 給水部に問題がないことを確認します。</p> <p>→ グライNDER調整を確認します。設定されている粒度が細かすぎないかどうかを確認してください。</p> <p>→ コーヒー粉からの抽出が、問題の原因になっている可能性があります(粉の投入量が多すぎます)。</p> <p>→ 浄水器の交換が必要かどうかを確認します。</p> <p>→ 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。</p> | |
| W-006 | <p>クリーニングボール投入口を点検してください</p> <p>- クリーニングボールの詰まりや破損がないことを確認してください</p> <p>- 光センサーが汚れていないことを確認してください</p> | <p>光センサーによってクリーニングボールの詰まりが検出された場合に表示されます。</p> <p>→ クリーニングボールが詰まったり破損したりしていないことを確認します。詰まったり破損したりしているクリーニングボールは、取り除いてください。</p> <p>→ プログラムモードからメンテナンス→「点検モード」の順に押し、「クリーニングボールテスト」ボタンを押します。</p> <p>→ 光センサーが汚れていないかどうかを確認します。</p> | |
| W-007 | <p>クリーニングボールを使わずに洗浄されました</p> <p>- クリーニングボール投入口が空でないことを確認してください</p> <p>- クリーニングボールの詰まりや破損がないことを確認してください</p> | <p>クリーニングボールが検出されない場合に表示されます。</p> <p>→ クリーニングボール投入口が空になっていないかどうかを確認します。空の場合は、クリーニングボールを補充してください。</p> <p>→ クリーニングボール投入口に詰まっていないかどうかを確認します。詰まったり破損したりしているクリーニングボールは取り除いてください。</p> | <p>7.3.6 52 ページ</p> |
| W-008 | 「次へ」を押してクリーニングを開始してください あとで行う場合は、右上の「閉じる」ボタンを押してください | <p>リンスボタンを2秒以上長押しすると、クリーニングが開始されます。</p> | <p>7.3.1 47 ~ 49 ページ</p> |
| W-009 | クリーニングボール投入口が取り付けられていません | <p>→ クリーニングボール投入口が適切に取り付けられているかどうかを確認します。</p> | |

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|--|----|
| W-010 | このコーヒーレシピは無効です | 操作は特に必要ありません。このメッセージは、コーヒーメニューが正常に抽出された時点で表示されなくなります。 通常、もう一度表示されることはありません。 | |
| W-011 | 左のブリューイングユニットの初期化に失敗しました ブリューイングユニットは作動していません → ブリューイングユニットを点検してください | モーターの初期化中に左のブリューイングユニットが作動停止となった場合に表示されます。 → 本体が自動で作動停止を解除し、その後メッセージが表示されない場合、早急に点検をする必要はありません。 ただし、数週間以内に本体の点検を実施することをお勧めします。 | |
| W-013 | メンテナンスが必要です サービスマンにご連絡ください | 所定の抽出回数に達したか、メンテナンスの実施期限を過ぎています。 → サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-014 | 浄水器のカートリッジを交換してください | 所定の浄水可能水量に達しています。 使用寿命に達した浄水器は、交換する必要があります。交換しない場合、石灰が原因となってボイラーが故障する恐れがあります。 → サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-018 | ミルクコンテナが空になっています ミルクを補充してください | ミルクコンテナにミルクを補充してください（左側のミルクメニューは、ミルクコンテナが空になったために抽出が中断されています）。 | |
| W-019 | ミルクメニューを作るにはスチーム圧が低すぎます | スチーム圧が基準値に達して、ミルクメニューが抽出されるまでお待ちください。 | |
| W-021 | 右のピストン（上）で問題が発生しています 本体は自動的に再運転を試みます | → 本体が自動で作動停止を解除し、その後メッセージが表示されない場合、早急に点検をする必要はありません。 ただし、数週間以内に本体の点検を実施することをお勧めします。 | |
| W-022 | 左のピストン（下）で問題が発生しています 本体は自動的に再運転を試みます | → 本体が自動で作動停止を解除し、その後メッセージが表示されない場合、早急に点検をする必要はありません。 ただし、数週間以内に本体の点検を実施することをお勧めします。 | |
| W-023 | 右のピストン（下）で問題が発生しています 本体は自動的に再運転を試みます | → 本体が自動で作動停止を解除し、その後メッセージが表示されない場合、早急に点検をする必要はありません。 ただし、数週間以内に本体の点検を実施することをお勧めします。 | |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|--|--------------------|
| W-024 | ミルクコンテナが空になっています ミルクを補充してください | ミルクコンテナにミルクを補充してください（右側のミルクメニューは、ミルクコンテナが空になったため、抽出が中断されています）。 | |
| W-025 | 豆ホッパー（左）のグラインダーの回転が検出されませんでした グラインダーは自動的に再運転を試みます | グラインダーは自動的に作動停止を解除しようとし、通常、問題はこれで解消されます。 3回試行しても作動停止を解除できなかった場合は、作動停止のままになり、手動での対応が必要です（警告W-068が表示されます）。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-027 | 日時が正しくありません ディスプレイメニューで日時を正しく設定して、マシンを再起動してください | → 本体の主電源をオフにして、10秒後にもう一度オンにします。ほとんどの場合、このエラーは発生しなくなります。 本体を再起動した後もメッセージが表示される場合は、左側のディスプレイで、メインメニュー→「ディスプレイ」→「日付と時刻」→「日付と時刻の設定」の順に移動して、日付と時刻を設定します。タイムゾーンが正しく設定されているかどうかディスプレイメニューで確認してください。 日付と時刻を手動で設定して本体を再起動した後もこのメッセージが表示される場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 9.2.3 72～73 ページ |
| W-029 | 外付けのEEPROM (CPU) で問題が発生しています CPU を交換してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-030 | 外付けEEPROM (CPU) へバックアップ中にエラーが生じました マシンの主電源を切り、約10秒待ってから再起動してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-034 | 左の抽出チェンバーでコーヒー粉が検出されませんでした コーヒー粉の投入口を確認して「次へ」を押してください | コーヒー粉の投入口を確認します。 十分な量のコーヒー粉を投入したかどうかを確認してください。 | 5.6.6 30 ページ |
| W-035 | 右の抽出チェンバーでコーヒー粉が検出されませんでした コーヒー粉の投入口を確認して「次へ」を押してください | コーヒー粉の投入口を確認します。 十分な量のコーヒー粉を投入したかどうかを確認してください。 | 5.6.6 30 ページ |

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|--|--|---------------------------|
| W-037 | ミルクシステムが洗浄剤を使わずに洗浄されました 「エバクリーン」を使用してください | ミルクシステムをクリーニングする洗浄剤がまったく検出されないか、わずかな量しか検出されませんでした。 もう一度自動クリーニングを行ってください。 | 7.3.1 47 ~ 49 ページ |
| W-038 | 左のコーヒーボイラーの温度センサーに問題が発生しています 温度センサーとケーブルを点検してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-040 | 左のミルク用ヒーターの温度センサーに問題が発生しています 温度センサーとケーブルを点検してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-048 | 週末は全てのミルクメニューが抽出できません 「週末のクリーニングモード」を確認してください | 「クリーニング/スタンバイ」メニューの「週末のクリーニングモード」をオンにしている場合のみ発生します。 必要に応じて「週末のクリーニングモード」をオフにしてください。 | 9.2.5 74 ページ |
| W-050 | 前面のファンが回転していません - ファンが正しく接続されているか確認してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-054 | 左のミルク用ポンプが正しく作動しません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-056 | 左のミルク注入口側の温度センサーが正しく検知できません 温度センサーとケーブルを確認してください | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-058 | 左のミルクコンテナの温度が高すぎます コンテナに冷たいミルクを入れてください | 冷蔵庫にあるミルクの温度が高すぎます。 → 冷たいミルクのみを使って補充してください。 | |
| W-060 | スチームボイラーユニットが接続されていません | サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-065 | サービスマンに連絡をして、次回のメンテナンス予定日を予約してください | 数週間以内に、メンテナンスが必要になります。 次回のメンテナンス予定日について、早めにご連絡いただくことをお勧めします。 | 7.1.2 45 ページ 77 ページ |

8 トラブルシューティング

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|--|---------------------------|
| W-066 | サービスマンに連絡をして、浄水器カートリッジの交換予定日を予約してください | 数週間以内に、浄水器カートリッジの交換が必要になります。 次回の浄水器カートリッジ交換について、予定日を早めにご連絡いただくことをお勧めします。 | 7.1.2 45 ページ 77 ページ |
| W-068 | グラインダー（左）が作動していません 豆ホッパー（後）を閉じてください 「次へ」を押すと、グラインダーは自動的に作動します | グラインダー（左）の作動停止を自動的に解除できませんでした。 → グラインダーで設定されている粒度が細かすぎ（グラインダーが回転できない）ていないかどうかを確認します。→「グラインダー設定」メニューに移動します。→「粗い」を押します。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-075 | 左の抽出時間が長すぎます 「次へ」を押してリンスを開始してください | 左側の抽出時間が3回連続で 目標時間よりも15秒を超えており、長すぎます。 問題がないかどうかを確認するため、「次へ」を押すとリンスが実行されます。 リンス後も表示される場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 9.2.1 69 ページ |
| W-077 | 左のリンス中の流量が多すぎます リンス履歴で詳細を確認してください | リンス中に、左側の水流速度が 15tick/秒を超えています。 コーヒーボイラーの予熱が開始されていません。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 9.2.1 69 ページ |
| W-080 | グラインダー（左）の作動停止を自動的に解除できませんでした 「次へ」を押すと、グラインダーの作動停止が解除されます | グラインダー（左）の作動停止を自動的に解除できませんでした。 → 解決しない場合は、サービスマンにご連絡ください。 | |
| W-084 | 豆ホッパー（左）のコーヒー豆の量が少なすぎます 豆ホッパーに豆を補充してください | 豆量の管理の光センサーで、左のホッパーに豆がないことを検出しました。 豆ホッパーに豆を補充してください。 注意が引き続き表示される場合は、サービスマンにご連絡ください。 | 5.4 26 ページ |
| W-086 | ミルクシステムの最初のリンスがまだ行われていません ログアウトしてください | 最初のリンスを開始できるようにするために、必ずログアウトしてください。 | 6.9 43 ページ |
| W-101 | スチームボイラーの圧力が高すぎます | スチームボイラーの内圧が2.3bar以上 (p_steam>=2.3bar) の場合に表示されます。 サービスマンにご連絡ください。 | |

トラブルシューティング 8

| 番号 | 通知メッセージ | メッセージの説明と対処法 | 参照 |
|-------|---|-----------------|----|
| W-103 | 左のスチームノズルの温度センサーに問題が発生しています 温度センサーとケーブルを点検してください | サービスマンにご連絡ください。 | |

8 トラブルシューティング

8.3 FAQ

8.3.1 抽出されたコーヒーが水っぽい

豆ホッパーが空であるか、閉じているため、豆がグラインダーに入りません。

→豆を補充するか、豆ホッパーをロックしてください。

詳しくは“5.4 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる” (26 ページ)を参照してください。

8.3.2 お湯またはコーヒーが出ない

給水ホースの注水口（通常、カウンターの下）またはコーヒーマシンの注水口（トレイの下）が閉じています。

→すべての注水口を開いてください。

詳しくは“5.2 電源を入れる” (24 ページ) を参照してください。

8.3.3 ミルクが抽出されない

冷蔵庫内にミルクがあるのに、ミルクが抽出されません。

→ミルクが十分に冷えていること（4～5℃）を確認してください。

→容器の底にミルクチューブが届いていることを確認してください。

→ミルクチューブが挟まれていないことを確認してください。

8.3.4 スチームノズルが詰まっている

→抽出の前後に毎回、スチームノズルのお手入れを行う必要があります。

詳しくは“5.6.5 フラッシングボタン” (29 ページ) を参照してください。



お手入れをしないと、スチームノズル内が徐々に詰まります。スチームノズルのお手入れを通常手順に含めてください。

8.3.5 カップウォーマーでカップが温まらない

→カップ加熱機能の効果を得られるように、カップは2客以上重ねないでください。

→カップウォーマーは、冷気が通り抜ける場所（開かれた窓または扉の近くなど）で、カップを温めるには不向きです。

詳しくは“5.5 カップウォーマー” (26 ページ) を参照してください。

9 付録

9.1 スペアパーツの注文

サービスマンにご連絡ください。

9.2 ユーザー権限

以下の表は、出荷時のデフォルト設定とユーザー権限について説明しています。「✓」の入った項目の閲覧と設定変更ができます。

- 「スタッフ」：抽出履歴の閲覧ができます。
- 「マネージャー」：設定内容の閲覧と最小限の変更ができます。
- 「サービスマン」：サービスマン専用です。詳細についてはお問い合わせください。

9.2.1 操作履歴

| パラメータ | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|--------------|-------|--------|--------|--------|
| | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| ドリンクカウンター | | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 日別カウンター | | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 期間別カウンター | | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 累計カウンター | | ✓ | ✓ | ✓ |
| マシンカウンター | | | | ✓ |
| 履歴 | | | | ✓ |
| - ドリンクメニュー履歴 | | | | ✓ |
| - エラー履歴 | | | | ✓ |
| - クリーニング履歴 | | | | ✓ |
| - リンス履歴 | | | | ✓ |
| - 点検履歴 | | | | ✓ |

9 付録

9.2.2 ドリンクメニュー（例：カプチーノ）

| パラメータ | | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|----------------|-------------|-------|--------|--------|--------|
| | | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| 1 ページ 目 | 1 × | | | | ✓ |
| | 2 × | | | | ✓ |
| | 抽出テスト | | | ✓ | ✓ |
| | 定量設定 | | | ✓ | ✓ |
| | ドリンクタイプ | | | | ✓ |
| | メニュー名 | | | ✓ | ✓ |
| | 豆ホッパー（右・左） | 右 | | | ✓ |
| | 水量 [tick] | 72 | | ✓ | ✓ |
| | 粉の厚さ [mm] | 14 | | | ✓ |
| | タンピング圧 [kg] | 20 | | | ✓ |
| | 蒸らし給湯時間 [s] | 0.8 | | | ✓ |
| | 蒸らし時間 [s] | 2.0 | | | ✓ |
| セカンドタンピング [mm] | 2.0 | | | ✓ | |
| 2 ページ 目 | バイパス量 [%] | 0 | | | ✓ |
| | リピート抽出 [#] | 1 | | | ✓ |
| | ミルクの量 [s] | 9.0 | | ✓ | ✓ |

| パラメータ | | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|-------|-------------|--------------|--------|--------|--------|
| | | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| メニュー目 | ミルクの順序 | ミルク⇒ コーヒー | | | ✓ |
| | コーヒー抽出の待機時間 | 0.0 | | | ✓ |
| | フォームミルクの順序 | フォーム⇒ ミルク | | | ✓ |
| | ミルクの割合 | 0 | | | ✓ |
| | フォームの質 | 80 | | | ✓ |
| | 温度の順序 | ホット | | | ✓ |
| | ミルクの種類 | 1 | | | ✓ |

9 付録

9.2.3 ディスプレイ

| パラメータ | デフォルト | ユーザー権限 | | | |
|------------------|----------------------|----------|--------|--------|---|
| | | スタッフ | マネージャー | サービスマン | |
| 1 ページ 目 | Import Icons | | ✓ | ✓ | |
| | - インポートを開始 | | ✓ | ✓ | |
| | - アイコンを全て消去 | | ✓ | ✓ | |
| | Import Language | | ✓ | ✓ | |
| | - インポートを開始 | | ✓ | ✓ | |
| | - 言語を全て消去 | | ✓ | ✓ | |
| | 言語 | 日本語 | | ✓ | ✓ |
| | 日付と時刻 | DD.MM.YY | | ✓ | ✓ |
| | スクリーンスタイル | Tempest | | | ✓ |
| | メニューページ数 | 3 | | ✓ | ✓ |
| | 自動でページ 1 に戻る | はい | | | ✓ |
| | スクリーンセーバー | オフ | | ✓ | ✓ |
| | フロントイルミネーション | Mix | | ✓ | ✓ |
| フロントイルミネーションの明るさ | 90 | | | ✓ | |
| 2 ページ 目 | 抽出時間を表示する | いいえ | | ✓ | |
| | 目標の抽出時間を表示 | オフ | | ✓ | |
| | ロック機能（停止ボタンを 5 秒長押し） | オフ | | ✓ | |

| パラメータ | | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|---------------|-------------------|-----------------|--------|--------|--------|
| | | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| 2 ページ 目 | スタンバイボタン | オン | | | ✓ |
| | ディスプレイの明るさ | 90 | | | ✓ |
| | ヘルプボタンを表示する | いいえ | | | ✓ |
| | グライnder設定ボタンを表示する | いいえ | | | ✓ |
| | リンスボタンを表示する | はい | | | ✓ |
| | 停止ボタンを表示する | はい | | | ✓ |
| 3 ページ 目 | 停止ボタン | オン | | | ✓ |
| | 給湯ボタン | オン | | | ✓ |
| | タッチホイール (左) | ホイールとして 使用する | | | ✓ |
| | スチームボタン | オン | | | ✓ |
| | タッチホイール (右) | ホイールとして 使用する | | | ✓ |

9 付録

9.2.4 グライNDER設定

| パラメータ | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|----------------------|-------|-------------------|--------|--------|
| | | スタッフ (パスワード保護) | マネージャー | サービスマン |
| パウダーテスト 豆ホッパー (左) | | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 細かい (-) [1/100 mm] | 0 | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 粗い (+) [1/100 mm] | 0 | ✓ | ✓ | ✓ |
| パウダーテスト 豆ホッパー (右) | | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 細かい (-) [1/100 mm] | 0 | ✓ | ✓ | ✓ |
| - 粗い (+) [1/100 mm] | 0 | ✓ | ✓ | ✓ |

9.2.5 クリーニング/スタンバイ

| パラメータ | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| クリーニングモード | 定期 | | | ✓ |
| 定刻クリーニング | 18:00 | | | ✓ |
| 定期クリーニング [h] | 24 | | | ✓ |
| クリーニング時間の許容範囲 [h] | 4 | | | ✓ |
| 週末のクリーニングモード | オフ | | | ✓ |
| 洗剤を使わずに洗浄した場合 | ロックしない | | | ✓ |
| クリーニング後のスタンバイ | いいえ | | ✓ | ✓ |
| オートオンとオートスタンバイ | オフ | | ✓ | ✓ |

9.2.6 パスワード

| パラメータ | デフォルト | ユーザー権限 | | |
|-----------|-------|--------|--------|--------|
| | | スタッフ | マネージャー | サービスマン |
| スタッフ | | | ✓ | ✓ |
| -パスワードを変更 | | | ✓ | ✓ |
| マネージャー | | | ✓ | ✓ |
| -パスワードを変更 | | | ✓ | ✓ |

9.2.7 その他の設定とパラメータ

一覧にないその他の設定とパラメータについては、担当のサービスマンにお問い合わせください。

アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本体ディスプレイに表示されるエラーメッセージの通りに操作をしても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

――― 〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉 ―――

- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない
- ・電源プラグ・コードが変形／破損している

- 2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に
1. お買い上げ日 2. 据付日 3. 製品名称と型式番号 4. 故障の状況を連絡のうえ、出張修理を依頼してください。
※出張修理の費用については、修理依頼時にお問い合わせください。
※離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費をご負担いただきます。
※本製品のメーカー保証範囲は保証書記載の保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります(補修用性能部品保有期間内)。
- 3) 補修用性能部品の保有期間について
当社では、このスーパーオートマティックコーヒーマシンの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 4) 廃棄について
販売店または専門の廃棄業者へ相談してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

エバシス ユーザーサポートセンター

受付時間 毎日 9:00 ~ 18:00 (365 日対応)

〒 201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

Tel. 0120-080-151 / Fax.048-449-6830

ホームページでのお問い合わせ (URL) 業務用コーヒーマシン専用サイト

professional.delonghi.co.jp



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

保証書

ご購入店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **出張修理**

| | | | |
|----------------------------------|-------------------|------------------|---------|
| 製品名：エバシス スーパーオートマティック コーヒーマシン | | | |
| 型式番号：c'2m | | | |
| お客様 | ご氏名： _____ 様 | TEL： _____ | |
| | ご住所：〒 _____ | | |
| 販売店 | ※店名・住所・TEL： _____ | | |
| | _____ 印 | | |
| ※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 | | 保証期間：お買い上げ日より1年間 | 保証対象：本体 |

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 車両、船舶等へ搭載された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
 - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

DeLonghi デロンギ・ジャパン株式会社

Tel.0120-080-151 〒201-0012 東京都狛江市中和泉5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

